

## 会議録

会議名	第35回 海津市地域公共交通会議
日時	令和5年12月18日(月) 10:00～
場所	海津市役所 西館1階 大会議室
出席者	委員23名 事務局3名
傍聴人	0名
議題等	報告1 海津津島線、デマンド交通土曜日運行について 議題1 事業中間評価について 議題2 海津市地域公共交通網形成計画の改定について 議題3 海津市地域公共交通会議設置要綱の改正について

### 協議・報告事項

#### 【報告1】 海津津島線、デマンド交通土曜日運行について

事務局から説明 **資料1**に基づき説明

**資料1** 海津津島線、デマンド交通土曜日運行について

#### 【議題1】 事業中間評価について

事務局から説明 **資料2**に基づき説明

**資料2** 事業中間評価について

○委員からの質問・回答、意見等 (→事務局回答、⇒他委員回答)

- ・せっかく様々な活動をされているので、市民の方々に活動内容を公表し、周知する予定はあるか。  
→活動内容は、一部事業をピックアップして市のホームページや市報で公表したい。
- ・これまでのデマンド交通の課題として、朝に固定的な利用があることで、予約が取りづらい状況があったかと思うが、この点は改善されているのか。  
→デマンド交通の課題解消については、当初はタクシーとの一体化によりサービスを提供することを検討していたが、タクシーの台数が減少したことで断念した。その代替として、平日に予約できなかった人が土曜日に利用できるようにするため、今回土曜日運行を開始している。今後の利用状況をみながら、改善状況を検証していく。
- ・資料1のP11に記載されている「新デマンド交通」とは何か。  
→「新デマンド交通」については、タクシーと一体化したデマンド交通として、網計画に記載していたが、方針を変更しているため表現等を見直す。
- ・先日参加したワークショップで、海津明誠高校の生徒から、海津市はコミュニティバスやデマンド交通が安く利用できて良いという意見があった。デマンド交通を含めて公共交通が進化

し、利用しやすい公共交通が運行されていることを周知していく必要がある。山崎では地区社協と連携して高齢者が買い物や通院しているが、デマンド交通も利用できるため、地区社協と連携し、高齢者が利用しやすいように広報してはどうか。

→今後も地区社協と協力をし、高齢者の方に利用していただけるよう説明の機会を設けていきたい。今月と2月にタブレットを利用した認知症予防教室を開催予定のため、合わせてデマンド交通の予約方法の説明を予定している。

⇒普段の会合でもなかなか公共交通の話は出ないため、市と協力して公共交通の話も取り入れ、広報活動をしていきたい。

→市としてもこのような広報活動には積極的に協力していきたいと考えている。

デマンド交通のバス停が遠いという意見があったことから、バス停の設置間隔を短くするため、バス停を増やす取り組みをしている。新たな停留所の設置などの意見があれば随時募集しているのでお願いしたい。

○原案のとおり承認

## 【議題2】 海津市地域公共交通網形成計画の改定について

事務局から説明 **資料3**に基づき説明

**資料3** 海津市地域公共交通網形成計画の改定について

・追記していただいた箇所について、地域公共交通確保維持のためにデマンド交通が必要な理由を明確に記載してほしい。

→内容を改めて、次回の公共交通会議にて示させていただく。

・今回の計画改定では、デマンド交通の方針が変更になった点や、Maas や運転手不足等近年重要になってきた内容は記載しないのか。

→今回の改訂では事業の部分は微修正としたいが、デマンド交通の部分も修正を検討する。運転手不足については、計画の中で運転手の採用の支援等を記載しているが、新たな課題等は令和8年度の改定時に記載していきたい。

○原案のとおり承認

## 【議題3】 海津市地域公共交通会議設置要綱の改正について

事務局から説明 **資料4**に基づき説明

**資料4** 海津市地域公共交通会議設置要綱の改正について

○原案のとおり承認

## その他の意見

- ・観光目的で木曾三川公園や水晶の湯まで運行されているが、水晶の湯はほとんどが車を利用しているため、そこまで運行する必要はないと考えている。また、木曾三川公園は現在イルミネーションをやっているが、その時間にはバスが走っていない。観光であればそれなりに走らせなければ利用してもらえないと思うため、課題として検討してほしい。  
→水晶の湯は海津津島線の運行後、市外からの利用もあるため、今後割引券等で周知していきたい。
- ・養老鉄道では乗客が減っているが、地元の野菜を運搬する等、貨物輸送を行い、荷物の運賃収入を増やせないか。  
以前は薬膳列車が走っていたが、復活できないか。  
⇒現状は新聞と雑誌しか運搬できない規定になっているが、届け出すれば他のものも運搬できるため、荷主からの需要があれば可能だと考えている。  
薬膳列車は薬膳の提供者が対応できなくなったため休止している。最近は枳酒列車を運行しているが、好評であれば実施を続けていきたい。
- ・海津市都市計画マスタープランに（仮称）愛津大橋の計画について記載がある。開通は当分先になると思うが、開通後はこの橋も積極的に活用してほしい。  
⇒（仮称）愛津大橋については、東海大橋から立田大橋の間に橋がないことから、重要な橋としてとらえている。促進協議会も設置し検討を進めているので、今後も地域の皆様と橋の重要性を訴えながら早期実現に向けて取り組んでいきたい。
- ・ホームページを見るとお千代保稲荷へのアクセスが羽島からしか案内されていない。利用者の多い日は海津津島線をお千代保稲荷経由にすることはできないか。  
ライドシェアが話題になっているが、20時半以降の公共交通が皆無なため、ライドシェアとデマンド交通を結び付け、遅い時間まで岐阜羽島駅でライドシェアがデマンド交通として迎えに来てくれるようなシステムはどうか。  
→海津津島線については、利用者にアンケートを取り、お千代保稲荷への需要が大きければ、実証運行から正規路線への移行時に検討したい。  
ライドシェアは法整備が十分整っていないこともあり、現時点では実証実験ができる段階ではないと考えている。デマンド交通の車両は5台だが、予約が取りづらい部分の緩和のためにライドシェアが使えるようであれば考える必要がある。  
⇒ライドシェアは地域を限定する方針も出ているので海津市でできるかはわからない。日本の公共交通は国が安全を重視して制度がつけられているが、海外では安全がうやむやになっており、利用者が評価するような仕組みもあり、日本の文化的に合うかわからない。運転手の高齢化が進んでいるため、どうにもいなくなるときには、若い人に協力してもらいライドシェアを導入する手も考えられる。

閉会